

展示会・商談会等出展事業費補助金交付申請書

令和8年●月●●日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

申請者 住 所 〒●●●●-●●●●●●  
                                  □□県○○市◇◇◇◇◇◇  
名称及び                  株式会社△△△△△△  
代表者名                  代表取締役 ○○ ○○  
担当者氏名及び連絡先 ●● ●● 090-●●●●●●-●●●●●●

展示会・商談会等出展事業費補助金の交付を受けたいので、補助金等交付規則第3条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額
  - (1) 補助事業に要する経費                                   710,200円
  - (2) 補助金交付申請額                                       340,000円
  
- 2 添付書類
  - (1) 補助事業概要（別記様式第1号-別紙1）
  - (2) 事業費積算明細書（別記様式第1号-別紙2）
  - (3) 暴力団排除に関する誓約書（別記様式第1号-別紙3）
  - (4) 代表者の住民票抄本〔個人の場合のみ〕の写し
  - (5) 納税証明書（税目：全ての県税）の写し
  - (6) その他知事が必要と認める書類

補助事業概要

1 申請者の概要

申請者名称	株式会社△△△△△△		
事業所の所在地 (宮城県内)	〒●●●●-●●●● □□県○○市◇◇◇◇		
TEL	022-211-2954	E-Mail	suishih@pref.miyagi.jp
担当者名	●● ●●		
担当者 TEL	090-●●●●-●●●●	担当者 E-Mail	●●●●@pref.miyagi.jp

2 補助事業を活用する目的 (達成目標や目標達成に向けた取組など具体的に記載してください)

具体的に記載してください。

3 件以上参加する場合は、適宜行を増やしてください。

3 参加する展示会・商談会等の概要

展示会・商談会等名	開催場所 (住所含む)	主催者	開催年月日
大阪シーフードショー	ATC ホール (大阪府大阪市●●●●●●●●●●)	(一社) ●●●●●●	R9. 2. 19~20
FOODEX JAPAN in 関西	インテックス大阪 (大阪府大阪市●●●●●●●●)	(一社) ●●●●●●	R8. 7. 22~24

「補助金申請額」は補助対象経費の2分の1です (千円未満は切り捨て)。ただし、1展示会・商談会当たり30万円が上限です。

4 経費の内容

展示会・商談会等名	補助対象経費			補助金申請額*	自己負担額
	旅費	庁費	合計		
大阪シーフードショー	80,200	200,000	280,200	140,000	140,200
FOODEX JAPAN in 関西	80,000	350,000	430,000	200,000	230,000
合計	160,200	550,000	710,200	340,000	370,200

※ 「補助金申請額」は、千円未満の端数は切り捨て

5 事業実施期間

令和8年4月1日 から 令和9年2月28日 まで

事象実施期間内に「支払い」を行う必要があります。(展示会等の開催期間ではありません)

事業費積算明細書

(単位：円)

展示会・商談会等名	経費項目	小計	補助対象経費	積算明細	
				事業費	内容
大阪シーフードショー	旅費	80,200	交通費	60,200	1人×60,200円
			宿泊費	20,000	1人×2泊×10,000円
	庁費	200,000	出展小間料等	150,000	
			備品レンタル費	30,000	
			運搬費	5,000	
			電気工事費 (電気使用料も含む)	15,000	
			給排水施設使用料 (水道料も含む)		
	販売促進員派遣費				
小計	280,200				
FOODEX JAPAN in 関西	旅費	80,000	交通費	59,000	1人×59,000円
			宿泊費	21,000	1人×3泊×7,000円
	庁費	350,000	出展小間料等	300,000	
			備品レンタル費	20,000	
			運搬費	10,000	
			電気工事費 (電気使用料も含む)	10,000	
			給排水施設使用料 (水道料も含む)		
	販売促進員派遣費	10,000			
小計	430,000				
合計	旅費		交通費		
			宿泊費		
	庁費		出展小間料等		
			備品レンタル費		
			運搬費		
			電気工事費 (電気使用料も含む)		
			給排水施設使用料 (水道料も含む)		
	販売促進員派遣費				
小計					
合計	710,200				

誓約書

- 私  
 当社

は、下記1及び2のいずれにも該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、貴職において必要と判断した場合に、別紙「役員等名簿」により提出する当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

1 補助事業者として不適当な者

- (1) 暴力団（暴力団排除条例（平成22年宮城県条例第67号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等（同条例第2条第4号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 事業者（暴力団排除条例第2条第7号に規定する事業者をいう。以下同じ。）の役員等（個人である場合はその者、法人その他の団体である場合は役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、当該団体に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。）をいう。以下同じ。）が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用するなどしているとき
- (3) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 補助事業者の相手方として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて補助事業を担当する県職員等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

令和8年●月●●日

住所（又は所在地） □□県○○市◇◇◇◇

社名及び代表者名 株式会社△△△△△△  
代表取締役 ○○ ○○

※ 添付書類：役員等名簿

「役員等名簿」

事業者名	株式会社△△△△△△
担当者 役職・氏名	営業課 次長 ●● ●●
電話番号	090-●●●●●-●●●●●

No	氏名(漢字)	氏名(フリガナ)	生年月日(半角)				性別 男・女	住所
			元号	年	月	日		
1	●● ●●	●● ●●	明治・大正 昭和・平成	48	3	●	男・女	□□県○○市◇◇◇◇◇
2	△△ △△	△△ △△	明治・大正 昭和・平成	2	2	△	男・女	□□県△△市●●●●●
3	○○ ○○	○○ ○○	明治・大正 昭和・平成	5	10	○	男・女	○○県□□市□□□□
4			明治・大正 昭和・平成				男・女	※登記簿謄本に記載されている役員を全て記載してください。(監査役は除く)
5			明治・大正 昭和・平成				男・女	
6			明治・大正 昭和・平成				男・女	
7			明治・大正 昭和・平成				男・女	
8			明治・大正 昭和・平成				男・女	
9			明治・大正 昭和・平成				男・女	
10			明治・大正 昭和・平成				男・女	